

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/09/12 ～2021/09/30)

コロナ禍ではありますが無事にヨーロッパのチェコ共和国での留学生活を始めることができましたので、報告書という形で留学生活の始まりについてお伝えすることができたらいいなと思っています。私が留学しているのは、チェコのオストラバ大学という大学です。大学があるオストラバという都市は首都のプラハからは電車で東に 3 時間半進んだところに位置しており、ポーランドとの国境に近い街です。

1. 勉学の状況

・チェコ語に関して

9 月 13 日から 1 週間はウェルカムウィークという期間でこの時期には、公用語であるチェコ語のクラスが開講されていました。この授業の参加には事前に申し込みが必要でした。定員に対して参加者希望者が多かったようで、9 月に入ってから申し込みをした私は先着順の選考から漏れてしまい、残念ながら参加することはできませんでした。その代わりに、日本から持参したチェコ語の参考書のフレーズを自宅（学生寮）で軽く読み返すと言ったことはしていましたが、実際のところは机に向かって勉強している時間はあまりとっていません。最低限生活で困らないために必要なチェコ語を、実生活の中から吸収していくことが重要であり、効率のよい方法だと思い、実践しています。

・授業に関して

オストラバ大学では、自分の所属する学部から単位数に換算して 55%以上の授業を受講さえすれば、他学部の授業も受講が可能です。

私は faculty of social studies という学部にも所属しています。この学部では、授業が 10 月 7 日から開講されるので現時点では授業の中身について詳しくお伝えすることはできません。faculty of social studies からは現時点では 4 つの授業を受講し、他学部である faculty of arts からは 2 つの授業を受講しています。faculty of arts をはじめとした多くの学部ではウェルカムウィークの次の週（9 月 20 日～）から授業が始まりました。

faculty of arts から受講しているのは、火曜日の 7:30 からの sociology of work という授業と、水曜日の 14:10 からの sociology of migration という授業です。どちらも英語による講義型授業で現地の学生が数人の留学生と一緒に講義を受けています。日本の大学の講義に近いイメージではありますが、たびたびグループワークやプレゼン発表などがあり、積極性も重要であると感じました。個人的には、英語力に自信は無いのですが、先生もネイティブスピーカーでは無いのでゆっくりとした英語で話してくださるので、留学前に想像していたよりも、聞き取

りに困らないようにも思えました。

授業に関しては次回の報告書で、もう少しお伝えできればいいなと感じています。

2. 生活の状況

オストラバ大学への留学生はいくつかの寮にわかれて住んでいます。私が住んでいる寮はオストラバ大学が経営している寮で、他の寮よりも家賃が安いこともあり、多くの留学生が住んでいます。出身国もバラバラなので、いろんな国の友達ができ、とても良い環境であると感じています。また、留学生だけでなくチェコ人の学生も住んでおり、チェコ語で困ったことなどがあれば助けを求めることができるのですごく恵まれているように感じます。また、寮とは別にバディーシステムが存在しているので、チェコに到着してから初めて寮に辿り着く時の道案内や、様々な手続き等の支援をしてくれる英語が喋れるオストラバ大学所属の現地の学生がいます。それらの支援があるので、困ったことがあれば積極的に人に頼って、1人で悩みを抱えないように心がけています。

食事の面に関してなのですが、寮のキッチンで自炊をしたり、外食をしたりしながら生活しています。飲食店で感じたことなのですが、私は日本の一人前のサイズでは物足りないと感じることもあり決して少食というわけではないのですが、チェコのお店だと日本と違い一人前の量がすごく多く、食べきれない時も多々あります。またチェコのレストランやフードコートなどで食事をする時は、野菜を摂取できるメニューが少ないので、ビタミン等の不足には注意を払いながら生活しています。

最後にコロナ禍の中でも長期留学を可能にくださった、先生方、留学生課の方々、友人、家族など全ての方々に感謝申し上げて第一回の報告を終了させていただきます。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/10/01 ～2022/01/31)

1. 勉学の状況

私は winter semester と summer semester の二学期、一年弱の期間の留学の予定で、前半の winter semester (以下前期) が終了したので中間報告書という形で留學生活の前半をまとめていこうと思います。私は前期に6つの授業を履修しました。所属する Faculty Social Studies から Individual Social Work と Sociology と Social problems と Introduction to Czech Social Work という4つの授業を、Faculty of Arts から Sociology of Work という授業と Sociology of Immigration という2つの授業をとりました。Individual Social Work をのぞいて、私が受講した授業はすべて英語で開講されていました。Individual Social Work は一日に二回午前と午後で授業があつて、午前の授業は講義形式で留学生だけが受講するようになっていたので英語で開講されましたが、午後の授業は practice クラスということで、留学生だけではなく現地のチェコの学生も一緒に受講しました。そのため先生が説明するときはチェコ語をメインに使用して、現地の学生が通訳してくれるという形で授業が行われました。実際のソーシャルワークのケースを想定して、クライアントとソーシャルワーカー役に分かれて実践をしていくという practice が授業内でありましたが、その時は現地の学生も私たち留学生のために英語を使用してくれました。留学生ではない現地の学生が当然のように英語を話しているのを見て、日本の大学とは英語に関する水準が違うなあと感じさせられました。

私が受講した授業では、6つ中5つの授業でプレゼンを課せられました。英語でプレゼンを重ねることで様々な気づきや学びを得ました。その中の一つとして、スクリプトを完璧に準備し、それを丁寧に読むプレゼンがあまり、プレゼンとしてのクオリティーが高くないという気づきを得ました。あくまでプレゼンのなかでは、言葉というのは「口に出したときにどんな伝わり方をするか」というのが一番重要なことで口に出すことを想定した準備をする必要があると強く思います。スクリプトを読むだけでは、書き連ねた言葉に感情は乗らないし、聞く側の感情にはもちろん届かないのだと私なりに思うようになりました。

授業の講義自体は12月頭に終了するものがほとんどで、試験やプレゼン、最終課題締め切りの日付が11月末～1月末に設定されており、教授の好みで決められている感じでした。早めに取り掛かることができたので、私個人としては、一月はほとんど作業に追われることはなく、冬休みとして心身ともにリフレッシュをすることができました。

2. 生活の状況

いま私は、留学生たちが集まる Jan Opletal という寮に住んでいます。一年間この寮に住む予定で、友達のほとんども同じ寮に住んでいる人たちです。この寮には様々な国からの人たちが集まっており、留学生に限らず、現地のチェコ出身の学生や海外から正規の学生としてオストラバ大学の学士や博士で学んでいる学生がいます。そのためとても国際的な環境になっており、お互いの言語や文化など様々なものを共有する環境が整っています。その中で、文化や価値観が大きく違うためいろんな衝突が起こったりします。それをまた議論し、解決していくことも国際交流の一つであると思います。短期の留学や国際交流イベントでは、お互いの良さを知ってもらいたいと思って、みんないい顔するので、表面上の部分しか見えないことが多いのですが、数か月も共同生活をする中で、文化の違いの深い部分まで見たくなくても直面することになります。20年以上日本だけで生活してきた私からしたら「ありえない」ということが他の国の人にとっては「あたりまえ」だったりします。その中でお互いに英語や時には他の言語を使いながら自分の気持ちを伝えて、相手の気持ちを理解しようとするのが人間として大きく自分を成長させてくれたと強く感じています。オストラバ大学に留学する人に限らず留学を考えている皆さんに、外国の方との共同生活を経験してもらいたいと思います。

私個人として、一番の問題といえば冬の厳しさです。日本でも雪国育ちではなく太平洋側の温暖な地域で育ってきた私にはオストラバの冬は少しつらいこともありました。寒すぎて外に出たくないと感じたり、体調をくずしたり、恥ずかしい話なのですが、雪が積もるという経験が人生でもゲレンデをのぞけば指で数えられる程度しかなかったので、雪に対する慣れがほとんどなく、凍った道路でおもいきり転倒してしまったりすることもありました。

この数か月で様々なことがあり、時には大変なこともありましたが、それもすべて新鮮で貴重な思い出としてかみしめて残り半分の留学生活も充実したものにしていきたいと思っています。